

徳島市立中学校制服のあり方検討委員会だより 第1号

～徳島市立中学校の制服を検討します！～

検討委員会の設置

近年、制服の機能性向上や性の多様性への配慮等から、管内の公立中学校共通の制服「標準制服」を導入する自治体が増えています。こうした動きを受け、徳島市教育委員会は、市立中学校における制服のあり方や、「標準制服」の導入可能性などの検討を行うため、令和6年8月に「徳島市立中学校制服のあり方検討委員会」を立ち上げました。9月4日に開催した第1回の検討委員会では、制服の現状や課題の把握、論点出しを行い、制服についてのアンケート調査に対する意見を伺いました。



第1回検討委員会の様子

標準制服イメージ



全市立中学校共通の制服「標準制服」について

他県では、「標準制服」として、ブレザーやスカート、スラックス、キュロット等を市立中学校共通の制服として採用する事例が増えています。

<標準制服のメリット（導入済市より）>

- ・機能性の向上（動きやすい生地、防寒や暑さに配慮したデザイン等）
- ・ジェンダーレスへの対応の向上（性差が少ないブレザータイプ）
- ・大量発注による価格抑制の可能性
- ・SDGsの促進（学校を超えたリユースが可能）

← 熊本市提供。リボンやネクタイの色柄を学校別とする事例も。

委員からの意見

<制服について>

- ・子供たちが、性自認や環境に合わせて自由に制服を選択できることは、大きな意義がある。
- ・制服が本当に機能的で快適であるか、制服自体の必要性も含めて検討すべきである。
- ・市内の全市立中学校が同じ制服になった場合、どこの学校の生徒か識別が難しいため、生徒指導の面から考えると不安もある。

<アンケート調査について>

- ・実際に制服を着用している中学生に対しては、全学年の意見を聞いたほうがよい。
- ・保護者は、小学校低学年から中学生の保護者まで広く意見を聞いたほうがよい。
- ・児童生徒、保護者、教員のそれぞれの立場から多様な意見が出てくることは非常に大事。

アンケートの実施について

制服のあり方や今後の方向性を検討するにあたり、制服に対するイメージやニーズ等を把握するため、アンケートを実施します。対象となる皆様にはご協力よろしくお願い申し上げます。

<調査対象>

- ・市立小学校児童 5・6年生
- ・市立中学校生徒 1・2・3年生
- ・児童生徒保護者（全学年）
- ・市立中学校教員

<調査期間>

令和6年9月20日(金)から
令和6年10月3日(木)まで

<調査方法>

インターネットまたは紙調査票